



昭和40年頃のコート

入っている水を「どうした」といって頭からバサッとかける。口のそばを通る水を飲んで「ありがたいございます」と練習再開という具合でした。

**髭野**……今は考えられないが、あの頃は水飲んだら疲れるからと飲ませなかった。

**中野**……ランニングは一番遠くが多摩動物園、次が谷保天神、次が校舎の外を廻るコース。普段は校舎ぎりぎりぐるぐる廻りました。

**亀山**……谷保天は冬場など、よく行ったな。

**中野**……大学は北海道に行つて、会社に入つて全国出張が多く、練習には出られず大変不義理をしてしまいました。申し訳ないと思っています。

**髭野**……いやそんなことはない。ずーっと会費を



中野 修(高21)



菊地則子(高34)



廣内 大(高42)

払っている笑。紫芳会の。

**中野**……戦績ですが私どもは関東まででした。1期上の佐藤・喜多組、3期上の川合・藤原組がインターハイに行かれています。当時は参加チーム数が1200〜1600ぐらいと非常に多かったです。

**中野**……では次に34期の菊地さん。

**菊地**……50年代半ばは硬式庭球部に押されてきて、5面コートのうち軟庭は2面でした。34期は昔ながらの合宿を経験した最後の代です。夏合宿は山中湖でしたが、部員が1・2年男女合わせて22人のところ、OBが約25人！朝の山登りマラソンをはじめ、きつい合宿でヒイヒイ言っていました。「怪我すれば練習が休めると思っけて目を閉じて走っていた」という男子の話聞いたことがあるくらい(笑)。でも、今思うと他ではできない経験だったと思います。

**中野**……OGの方も見えた?・

**菊地**……はい。でも人数は圧倒的にOBが多かったですね。普段の練習でも担当幹事である29期を中心としたOBの方々にお世話になりました。

1年の時に3年生の鎌田・小山ペアの関東16本という活躍を見て刺激を受けて夢中で練習して:

先輩や仲間にも恵まれ、34期は男女とも多摩団体の3位、個人戦では男女1ペアずつ関東大会にも出場できました。あれだけ苦しい練習を頑張ってきたのだから怖いものはない、という気持ちで頑張れたのを覚えています。

その後、時代の流れて学校の安全管理や生徒の考え方が変わってきたりして、合宿も学校主催の合同合宿となってOBは5〜6人に限定となりました。

**中野**……廣内さん、お願いします。

### 廃部の危機を乗り越えて

**廣内**……私は昭和の終わり頃の代です。先輩たちが使ったコートで3年間やった最後の世代です。

**亀山**……硬式も結構いっぱいいたんだ?

**廣内**……硬式が3面使つて、軟式は男女1面ずつです。当時は2年の秋で学業に専念となり、3年になってラケットを握っていると白い目で見られた。**中野**……他の部活もそうだったの?

**廣内**……そういうクラブは多かったですね。だから新人戦なんかは出られず残念でした。私が入ったときは1面に20人近くいて、1年の1学期は陸上